

# 研究レポート No.643



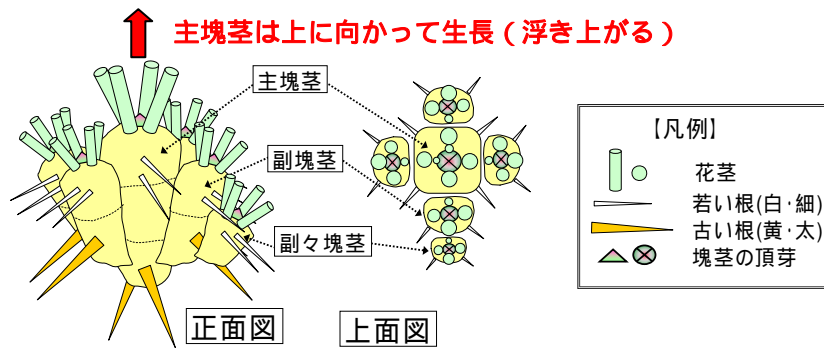
## エゾリンドウの株を維持するポイントは「副塊茎」です！

### 【1 成果概要】

- (1) エゾリンドウの塊茎(クラウン)には主塊茎(親)・副塊茎(子)という親子関係があります。
- (2) 切り花となる花茎は、3年株を境に主塊茎では衰えてきますが、副塊茎では維持されます。
- (3) 株の維持に重要な越冬芽も、主塊茎では年々減少しますが、副塊茎では逆に増加します。

#### (1) エゾリンドウの塊茎(クラウン)の様子

塊茎は、主塊茎・副塊茎・副々塊茎のように親・子・孫の関係にあります。親である主塊茎は上に向かって生長するクセがあります。



#### (2) エゾリンドウの株の経年推移(早生品種、2~4年株)

部位	項目	2年株	3年株	4年株	
主塊茎	塊茎	乾物重	↑	↑	↑
		主塊茎長	↑	↑	↑
		越冬芽数	↓	↓	↓
	花茎	数・乾物重	↑	↓	↓
花茎長		↑	↓	↓	
副塊茎	塊茎	乾物重	↑	↑	↑
		越冬芽数	↑	↑	↑
	花茎	数・乾物重	↑	↑	↑
		花茎長	↑	↑	↑

塊茎は上に伸びながら大きくなりますが、これは欠株の原因とされる「浮き上がり」を意味します。

越冬芽が減少します。

花茎は3年株をピークに衰退します。

越冬芽が増加します。

花茎は4年株でも維持されています。

### 【2 使い方】

副塊茎に着く花茎の過剰間引きや過剰収穫を避け、養成茎を残すよう栽培管理しましょう。

副塊茎には細い茎や曲がった茎が多く、株の外側にあるので、つい外側からゴソッと間引きたくなります。「親(主塊茎)だけでなく、子ども(副塊茎)も大事に」の気持ちで間引きや収穫を行いましょう。

